



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社
 コード番号 6254 URL <https://www.nomura-nms.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八巻 由孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三阪 雅登

TEL 046-228-5195

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,806	40.8	1,588	323.3	1,568	422.8	1,066	389.4
2020年3月期第2四半期	9,096	20.7	375	3.5	299	37.2	217	36.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,171百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 39百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	116.06	
2020年3月期第2四半期	23.84	23.82

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	23,157	11,219	48.4	1,219.06
2020年3月期	19,622	10,314	52.6	1,123.61

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 11,213百万円 2020年3月期 10,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		33.00	33.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の1株当たり期末配当55円の内訳は、普通配当45円及び記念配当10円であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	44.9	3,100	67.9	3,078	72.8	2,093	64.4	227.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当第2四半期末の自己株式数をもとに算出した期中平均株式数より算出してあります。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	10,152,000 株	2020年3月期	10,152,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期2Q	953,160 株	2020年3月期	973,885 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	9,190,129 株	2020年3月期2Q	9,142,314 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の需要喚起策による個人消費の持ち直しや底堅い公共投資があるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、民間設備投資、雇用情勢は弱含み、企業収益は急速に減少する等厳しい状況が続きました。世界経済においては、経済活動の再開が段階的に進められ一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、米中貿易摩擦の長期化等依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、自動車、スマートフォン、産業機器関連等の販売が減少した一方で、次世代通信規格5Gやテレワーク、巣ごもり等の行動様式の変化を背景にデータセンター関連需要が高まったこと等により堅調に推移しております。Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2020年第2四半期の半導体製造装置販売額によると、昨年までの投資抑制から一転、韓国、中国、日本、台湾等アジア地域を中心に前年同期比増となり、世界全体の半導体製造装置販売額は前年同期比26%増の16,800百万ドルとなりました。また、FPD(フラットパネルディスプレイ)市場は、中国を中心に液晶パネルから有機ELパネルへの投資シフトが進んでおります。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・FPD関連企業、国内では半導体・製薬関連企業を中心に積極的な営業活動を展開し、受注獲得に努めてまいりました。

これらの事業活動により、水処理装置については、国内、韓国及び中国の半導体関連企業から受注した超純水製造装置の工事が進捗したことに加え、韓国での大型水処理装置案件の受注等により売上高は8,951百万円(前年同期比69.2%増)となりました。また、メンテナンス及び消耗品については、国内の受注が堅調に推移したことから売上高は3,545百万円(同0.2%増)となりました。その他の事業については、配管材料の販売増加等により、売上高は309百万円(同16.3%増)となりました。

利益面については、水処理装置の売上増加と低採算案件が一巡したこと等により売上総利益率が2.5ポイント改善したことに加え、テレワークの実施等により販売費及び一般管理費が前年同期比で減少となったこと等により営業利益率が8.3ポイント改善いたしました。

以上の結果、受注高は12,407百万円(同25.4%増)、売上高は12,806百万円(同40.8%増)、営業利益は1,588百万円(同323.3%増)、経常利益は1,568百万円(同422.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,066百万円(同389.4%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への大きな影響は見られませんでした。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,535百万円増加し、23,157百万円となりました。これは主に、現金及び預金が2,117百万円、仕掛品が1,746百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,630百万円増加し、11,938百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,046百万円、流動負債のその他が954百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて904百万円増加し、11,219百万円となりました。これは主に、利益剰余金が763百万円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ3,007百万円増加し、6,123百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、2,519百万円(前年同期は577百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,571百万円、前受金の増加が1,016百万円、仕入債務の増加が1,015百万円、売上債権の減少が1,006百万円となった一方で、たな卸資産の増加が1,894百万円となったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、756百万円(前年同期は990百万円の使用)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入が1,574百万円となった一方で、定期預金の預入による支出が759百万円となったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、386百万円(前年同期は986百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出が480百万円となったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦の長期化が当社業績に影響を与える可能性があります。現時点で進行中案件に関して、中断や延期等の動きはみられていないことから、前回発表予想(2020年10月26日発表)を据え置くことといたします。今後開示すべき事象が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845,011	6,962,745
受取手形及び売掛金	9,069,911	8,162,549
電子記録債権	390,185	333,028
商品及び製品	108,254	168,721
仕掛品	575,765	2,322,641
原材料及び貯蔵品	289,242	403,277
その他	1,569,151	1,980,768
貸倒引当金	△11,037	△18,335
流動資産合計	16,836,484	20,315,396
固定資産		
有形固定資産	1,770,861	1,743,738
無形固定資産	14,461	14,020
投資その他の資産	1,000,628	1,084,726
固定資産合計	2,785,951	2,842,484
資産合計	19,622,436	23,157,881
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,786,566	3,833,063
短期借入金	3,197,800	3,122,960
未払金	1,547,225	2,028,051
未払法人税等	297,746	519,537
製品保証引当金	65,958	62,553
工事損失引当金	277	86,423
賞与引当金	204,327	229,074
役員賞与引当金	9,355	5,783
資産除去債務	10,628	10,628
その他	655,203	1,610,175
流動負債合計	8,775,089	11,508,250
固定負債		
退職給付に係る負債	105,534	6,431
役員退職慰労引当金	248,475	258,558
その他	178,347	164,940
固定負債合計	532,356	429,930
負債合計	9,307,446	11,938,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,080,882	2,103,822
利益剰余金	6,132,447	6,896,177
自己株式	△467,024	△457,180
株主資本合計	9,983,105	10,779,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,352	85,887
為替換算調整勘定	285,170	348,443
その他の包括利益累計額合計	329,522	434,331
新株予約権	2,362	5,748
純資産合計	10,314,990	11,219,699
負債純資産合計	19,622,436	23,157,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	9,096,349	12,806,664
売上原価	7,180,846	9,783,487
売上総利益	1,915,502	3,023,177
販売費及び一般管理費	1,540,117	1,434,281
営業利益	375,385	1,588,895
営業外収益		
受取利息	14,636	7,704
受取配当金	8,421	7,710
受取家賃	11,008	11,023
その他	5,253	5,476
営業外収益合計	39,320	31,914
営業外費用		
支払利息	20,741	17,873
為替差損	92,329	33,806
その他	1,707	1,070
営業外費用合計	114,778	52,750
経常利益	299,927	1,568,059
特別利益		
固定資産売却益	95	1,421
新株予約権戻入益	—	1,687
特別利益合計	95	3,109
特別損失		
固定資産売却損	233	—
固定資産除却損	18	0
役員退職慰労金	2,300	—
特別損失合計	2,552	0
税金等調整前四半期純利益	297,470	1,571,169
法人税等	79,511	504,560
四半期純利益	217,959	1,066,608
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,959	1,066,608

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	217,959	1,066,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,261	41,535
為替換算調整勘定	△234,557	63,273
その他の包括利益合計	△257,818	104,808
四半期包括利益	△39,858	1,171,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,858	1,171,417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	297,470	1,571,169
減価償却費	99,752	57,641
株式報酬費用	2,485	13,213
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△17,167	6,969
賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,853	26,104
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,765	△3,538
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△11,001	△3,457
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	8,813	84,145
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,165	△94,058
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△43,999	10,097
受取利息及び受取配当金	△23,057	△15,414
支払利息	20,741	17,873
為替差損益 (△は益)	△42,375	△1,319
固定資産売却損益 (△は益)	138	△1,421
固定資産除却損	18	0
新株予約権戻入益	—	△1,687
売上債権の増減額 (△は増加)	1,423,664	1,006,978
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△89,820	△1,894,146
前渡金の増減額 (△は増加)	△94,762	△79,861
その他の資産の増減額 (△は増加)	△89,604	△126,412
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,028,611	1,015,041
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△65,604	△190,117
前受金の増減額 (△は減少)	366,478	1,016,560
その他の負債の増減額 (△は減少)	△65,785	403,638
小計	687,556	2,817,999
利息及び配当金の受取額	14,024	25,352
利息の支払額	△20,909	△17,919
法人税等の支払額	△103,507	△306,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,164	2,519,257

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△40,517	△28,649
有形固定資産の売却による収入	145	1,422
ゴルフ会員権の取得による支出	—	△34,613
定期預金の預入による支出	△1,132,400	△759,410
定期預金の払戻による収入	184,400	1,574,760
敷金及び保証金の差入による支出	△50,513	△29,975
敷金及び保証金の回収による収入	23,000	32,536
保険積立金の積立による支出	△534	△534
保険積立金の解約による収入	25,753	—
その他	△130	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△990,796	756,134
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	400,000
短期借入金の返済による支出	△709,400	△480,520
リース債務の返済による支出	△5,518	△5,250
自己株式の処分による収入	—	2,300
自己株式の取得による支出	—	△131
配当金の支払額	△271,603	△302,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△986,522	△386,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85,367	118,546
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,485,522	3,007,674
現金及び現金同等物の期首残高	5,450,561	3,116,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,965,039	6,123,750

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(退職給付制度の変更)

一部の連結子会社は、2020年6月26日付で退職一時金制度から確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度へ移行しております。これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号2016年12月16日改正)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号2007年2月7日改正)を適用しております。本制度移行に伴い、損益に与える影響はありません。

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大は、世界的な規模で経済活動に影響を及ぼしておりますが、現時点で第3四半期以降における当社グループの活動への影響は軽微と判断して、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。この場合においては、第3四半期以降の連結財務諸表に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後更なる感染症拡大による経済活動の停滞等が生じた場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,416,187	3,575,996	104,165	9,096,349	9,096,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	529,763	208,690	—	738,453	738,453
計	5,945,950	3,784,687	104,165	9,834,803	9,834,803
セグメント利益	170,121	200,807	4,457	375,385	375,385

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,073,267	4,691,146	42,250	12,806,664	12,806,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	608,289	409,399	—	1,017,688	1,017,688
計	8,681,556	5,100,545	42,250	13,824,353	13,824,353
セグメント利益又は損失(△)	1,231,176	359,868	△2,149	1,588,895	1,588,895

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。